

日本看護歴史学会 会報

日本看護歴史学会
第30号
1998年6月8日

第一二回看護歴史学会大会

「戦後看護教育の検証」を九州大分県で

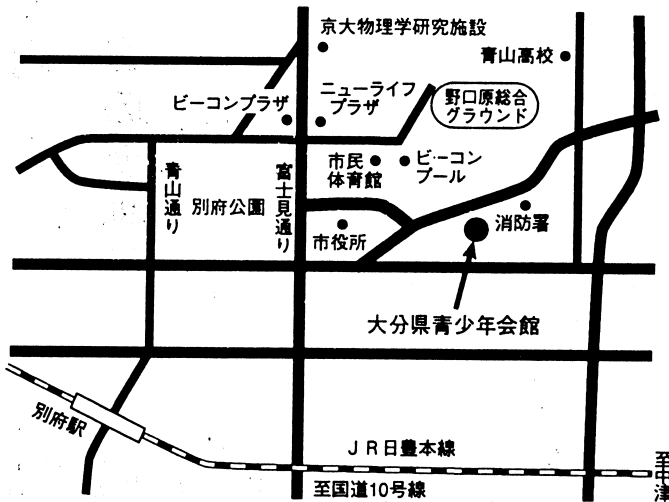
江崎 フサ子

近代看護婦誕生から一一〇年、そして戦後五三年目の今夏、「戦後看護教育の検証」をメインテーマとして第一二回看護歴史学会を大分県別府市で開催いたします。昨夏の京都では、「保健婦助産婦看護婦法制定五〇年の証言」として、まさにこの時代を生きてこられた金子光氏、榊秀子氏、林みどり氏が臨場感あふれる証言をされました。参加者の多くが、自分の来し方を手繰り、現在地を確認することができました。こうした経緯から、時宜的にも戦後の看護教育を振り返る機会の必要性を痛感し、今学会のテーマを上記に決定した次第です。具体的には、現

在、看護教育界の課題である准看護養成廃止の問題と看護基礎教育の大学化の動向を中心に据え、これらの出発点に焦点を当てて、看護教育の戦後から現在、そして今後を考える機会にしたいと考えています。本学会の会報二一〇号に五十嵐氏の「戦後五〇年に思うこと」、GHQの看護指導体験記」があります。GHQ（連合軍総司令部）の看護指導者が、日本の医師や看護婦に看護の本質を説き指導している様子が読みとれます。こうしたGHQの指導のもと、日本の看護や教育は如何なる変革を遂げ、現在の看護にどのような明暗をもたらした

のか、また、GHQ撤退後に生じたことは何かなど、体験者の証言をもとに理解を深めたいと思います。本学会では、証言者およびそのお立場として、金子光氏（看護行政の立場から）、有田幸子氏（元日本看護協会会長の立場から）、大森文子氏（准看護婦制度の問題について）、林千冬氏（准看護婦制度について）、日野原重明氏（医師の立場から）の六氏にご登

場をお願いしました。各氏は、ともに戦後の歴史を背負いながら後輩の育成を使命とされ、私たちに看護の展望を示唆して下さいました。ご体験からは、どのような証言やエピソード、秘話が飛び出すでしょう。会員・非会員の皆様のご参加を湯の町別府でお待ち申し上げております。



大分県青少年会館
〒874-0905 大分県別府市上野口町19-20
TEL 0997-21-4416

- 交通手段
- 大分空港よりエアライナー（バス）約30分北浜下車→タクシー5分（約600円）
 - JR 別府駅より西口（山の手口）よりバス①②⑦番から鉄輪（かんなわ）行きに乗車、野口原下車

第二二回 日本看護歴史学会大会開催案内

メインテーマ「戦後看護教育の検証」

会報第二九号でご案内しましたとおり、第二二回大会は大分県別府市で開催します。

今大会は現在の看護教育にとって変換点ともなり得る大学化への進展と准看護婦養成制度に焦点を当てて歴史的に検証します。

◆開催期日

平成一〇年八月七日(金)～
八月八日(土) 両日

◆会場

大分県青少年会館(地図参照)
〒874-0905
別府市上野口町一九一(二〇)
TEL〇九七七-二二-四四一六
FAX〇九七七-二二-四四一八

◆大会プログラムの概要

第一日目 八月七日(金)

午後〇時三〇分 受付開始
午後一時 開会
午後一時一五分～四時三〇分

証言

「戦後看護教育の検証一」

コーディネーター

小玉香津子氏

証言者の方々

金子 光氏

有田 幸子氏

午後四時四五分～五時三〇分

総会

午後五時三〇分～八時

自由集会

第二日目 八月八日(土)

午前九時一五分 開会
午前九時二〇分～一〇時五〇分
会員による研究発表

座長 玄田 公子氏

午前一一時～一二時三〇分
懇親会

午後〇時四〇分～二時四〇分

証言二

「戦後看護教育の検証二」

コーディネーター

亀山美知子氏

証言者の方々

日野原重明氏

大森 文子氏

林 千冬氏

午後二時四〇分～四時三〇分

放談会

コーディネーター

亀山美知子氏

証言者の方々による放談

午後四時三〇分 閉会

(総合司会は両日共高田節子氏)

◆大会参加申し込みについて

参加を希望される方は、氏名(複数連名可)を明記の上、所定

の参加費等を同封の振込用紙にて、七月二〇日(月)までに送金下さい。なお、郵便局備え付けの振込用紙でも申し込みができます。その場合は、通信欄に氏名および参加費の内訳を必ず記入して下さい。

郵便振替口座番号

〇〇九〇〇-二一四二九九七九

日本看護歴史学会(大会用)

※大会参加用と学会年会費用の振替口座番号は異なりますのでご注意ください。

◆大会参加費

会員 三〇〇〇円
非会員 四〇〇〇円
学生(大学院生を含む) 二〇〇〇円
懇親会 一五〇〇円

◆研究発表の申し込みについて

研究発表を希望する方は、左記の要領で、封書の表に「研究発表希望」と朱書きの上、お送り下さい。

・演題名

・氏名 所属 会員番号

(共同研究者も含む)

・要旨 八〇〇字以内

・申し込み締め切り

六月三〇日(火) 当日消印有効

